

# 富屋地区のシンボル

## シンボルマーク



【平成16年2月2日制定】

図案の意味は、左側の半円状の「と」が『富屋』を表しています。

また、右側の3本の曲線は清流『田川』を、中央の縦長の三角形は、富屋のシンボル、智賀都神社の『夫婦けやき』を表現しています。

色は「と」が富屋の大地を示す茶色、3本の曲線は澄みきった田川を示す青色、中央の三角形はけやきの新緑を示す緑色です。

## 花「ヤマザクラ」

【平成18年3月24日制定】



日光街道のヤマザクラは、全国の桜名所100選に選ばれており、桜の名所です。毎年4月中頃には、桜の花が満開となり、花のトンネルは圧巻です。

## 木「ケヤキ」

【平成18年3月24日制定】



智賀都神社の夫婦ケヤキと上徳次郎のケヤキは、樹齢が共に700年を超える古木です。富屋地区にはこのほかに、数多くのケヤキが分布しています。

## 鳥「キジ」

【平成18年3月24日制定】



色鮮やかで端正な姿、ケンケンと大きな声で鳴くキジは、富屋地区内の人里に数多く生息しています。春先には雌雄揃って、歩く姿が見られます。

## 虫「ホタル」

【平成18年3月24日制定】



三方を山に囲まれた富屋地区は、自然の宝庫で、ホタルの生息地になっています。毎年6月頃には、あちこちでホタルの幻想的な光が見られます。